

信じられないクラゲの話 ～ 不死と早死のヒドロクラゲ～

京都大学フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所 久保田 信(くぼた しん)

私はクラゲ類の一生について研究しています。これまでの色々な研究対象の中で、特異な一生を送る2種のクラゲ、ベニクラゲとカイヤドリヒドラクラゲの信じられない話を、今日は、皆さんに紹介します。

年をとったり衰弱したクラゲは人間と同じで、必ず死んでしまいます。ところが、ベニクラゲは死なないのです。オトナのクラゲが若いポリプにもどれるからです。そして、若返ったポリプが成長し、またクラゲになるのです。この若返りは何度でも繰り返せます。ベニクラゲは、まさに人類の夢を実現している“不死のクラゲ”なのです。

カイヤドリヒドラクラゲは、その名の通り、「貝に宿ったヒドラのクラゲ」です。ところが、ベニクラゲとは逆で、とても“早死のクラゲ”です。若いポリプは、二枚貝の柔らかい体に付着して暮らしています。暖かい時期になると、子どもをつくるため、オトナのクラゲが貝の外に泳ぎ出します。このクラゲは、ふしぎなことに、口や胃袋が退化し、獲物を捕まえる触手が全くありません。そして、子供をつくったらすぐに死んでしまいます。つまり、早死のクラゲなのです。

今日は、皆さんに、これら2種のクラゲの特異な一生を簡単に説明した後、歌でも紹介します。オリジナルな楽しい歌です。

1. ベニクラゲ音頭 <近々、カラオケUGAに登場>
2. ふしぎなカイヤドリヒドラクラゲ
(歌詞カードを見て、一緒に歌いましょう！)

単著などの紹介と、
歌の試聴ができます

<http://www.benikurage.com>

